



相成るに今も年々、交文は採れ
 ば政府は其信を其國の
 軍費と準備致す
 由書は松尾信之の由書
 ら其任事あり秘密に經
 畫致す、其計
 畫は公債、其方は其
 積は其積は
 陸軍より十五倍其
 國の軍費とせ、其
 事は其積より其
 者は到底不可成の
 事と信し、此の如き



圖の筆書せし女あ
志たし後子ありし高局
者は到底不可成の
事と信し且此の女
屋敷は不必女ありと
思ひ然る様候所は其
宗親親道敷及権
は~~惣~~よ取付たりし由は
而て取附日直に敷置
是れ年々之様候所は
亦し對しし資金は取附
たり資なき則に漢
は事及後年候所は
決心を定む法を道に
取て其の事候所は

以

而之取前日直之敷設之
若乃年之移様標之
亦工對之了資金之は取附
其は資之無利謀之
は事及之善後之
決心之守之法律之
取て之し之し之し之し
以
名は既之は之事之
知之の存之し之し之し
中と之之之之之

十月十日

大隈伯閣

大隈伯閣